大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

夕刊

新京日日新聞

定價　一部金三錢　一ケ月金八十錢　郵稅　一ケ月金五十錢
新京永樂町四丁目一番地
發行所　新京日日新聞社
電話（三）二二五番・三〇〇番
發行人　河東　忠
編輯人　松本　勇
印刷人　谷　啓二郎

湯玉麟勢力の内部的崩壞愈よ近し

王道の光輝く滿洲國への熱河軍民の心傾く

〔承德廿一日發國通〕苛酷なる課税と熱河票の濫發、僞勇軍並に學良正規軍多數の侵入により疲弊の極に達した民心は逸早く湯玉麟を離れ隨所に

＝怨嗟＝

の聲を聞く一方湯の部下の不從と湯が時局に善處する能力無きに飽き足らぬ部下將領間には自己の地位の動搖を恐れ、保身の策に頭を惱ます者多く漸く湯の威令薄らぎ湯の有力なる第九旅長崔興武の如きは早くより九の麾下三ケ團三千の兵を率ゐて王道の光輝く滿洲國統治下に馳せ參ぜんとする下心を有し、赤峰に在る湯の中心勢力を爲す精鋭と云はれた石旅長の約三千の騎馬隊並に建平に在る趙旅長の三千の如きも崔の進退に倣はんとする意あり、最近右兩旅長は此の意を認めたる信書を極密裡に崔興武の許に寄せたる事實あり、今や熱河全省を擧げ軍民滿洲國統治下に入らんとする

＝氣運＝

日に濃厚の度を增し、今や湯の勢力内部的に崩壞し熱河の情勢に大變化を來すは既に時間の問題に過ぎなくなつたと云はれて居る

ヒットラーが首相となる迄

―ナチスの勝利―

シュライヘル内閣總辭職の後を受けて獨逸では遂にヒットラーを首班とする内閣が組織された、シュライヘル内閣が成立したのは昨年の十二月三日であるから同内閣の運命は僅かに二ケ月足らずに過ぎなかつた譯で、お鉢が結局ヒットラーに廻つて來たのは當然來るべき所に來たとも言へる蓋し三代前の内閣ブリューニングの時代、次の内閣はヒットラーのナチス内閣であらうとは獨逸の内外に於て一般に信ぜられて居た所でそれがフオン、パーペンへ卒然として投げ與へられたのが既に一般に意外の感を與へたのである繁雜な事情を別としてナチスの政權獲得を中心として獨逸政局の動きを見るとブリューニング内閣以後三代の内閣は悉くナチスを政權から遠ざけやうとする一つの一貫せる運動と見る事が出來る、ブリューニングの穩健なる中央黨を中心とする内閣が倒壞したのは直接の原因は軟弱外交を猛烈に攻擊する軍部の政治干渉を禁遏すべく大統領に請願して拒絶されたにあるがその裏には同時にナチスの力で行かうとする政治運動を彈壓せんとして失敗し之が一つの大きな投出しの理由になつてゐるブ内閣がナチスを彈壓せんとしたのは言ふ迄もなくその頑敵な内外政策を主張するヒットラーが大統領の信任投票に於てヒンデンブルグ元帥の一千九百三十六萬票に對し一千三百四十一萬票を獲得し次で聯邦各州の選擧に於て到る所第一黨となり、その過激な言動が不安の人心に投じて何を仕出かすか分らない状態になつたからであつた

で、その時既に獨逸政局の大勢を支配するプロシャ議會に於て六票から一躍百六十二票へ躍進して多年勢威を張つてゐた民主黨を百三十七票から九十三票へ墜落したナチスが當然後繼内閣を組織すると思はれたのに意外にもフオン、パーペン君がヒンデンブルグ大統領の委囑を受けシュライヘル將軍、ノイラート男等を閣員とする中間内閣を組織した、之は大統領及び首相の言に依つて見ても又その後の内政ぶりを見ても一種の非常時内閣であつた例へば六月四日今日の政情に合致すとの理由で直ちに聯邦議會を解散し次で七月二十日にはプロシャが軍事緊急狀態にありとの理由で大統領令を以つて州議會並に州政府の上に州統監を置き之にシーペンを任命したりしたそしてこの中間内閣はその背後の强力とパーペン自身の穩健なる性格とから若干の期待をかけられてゐたのであるが、然しパーペンに組閣を命じた大統領の心裏にはナチス打倒が重大なる動機の一となつてゐた、即ちパーペンは寧ろロボットであつて實權はシュライヘルにありその背後には共產黨、民主黨及び新國家社會主義を標榜するナチスに極力反對しつつあつた現役軍人並に舊帝政派の頑固保守派があつたので、大統領はこの保守勢力の增大することによつてナチスの勢力を掃蕩しやうとしたからであつた。

從つて七月三十一日の總選擧によつて聯邦議會の總議席六百二十の中ナチスが二百三十九を占め社會民主黨を百卅三の第二黨に追ひ落し、常道から行けば當然ヒットラーに政權を渡すべきであつたに拘らずヒットラーの内閣明渡し要求に對して僅かに聯邦の副總理、プロシャの首相しか與へられぬと言ひ遂にナチスと公然正面衝突を演ずるに至つた、之が爲め總選擧後十日間の政戰休日を命ずる大統領令に對してナチスは露骨なる白色テロを以つて應へた。

その後に於ける内閣は一方に於て重大なる危局に直面しつつ他方ナチスの鬱然たる大勢力と抗爭し來つたので、その興廢は多かれ少なかれナチスの影響を蒙つてゐた、パーペンが昨年十一月十七日遂に辭職し十二月三日同内閣の國防相であり又ロボットたるパーペンを動かして居たシュライヘル將軍が組閣したのは陰の勢力が表に現はれたに過ぎずパーペン内閣の延長と何等異る所がなかつた。

この時にも大統領ヒンデンブルグ元帥は一應の道行きとしてヒットラーに組閣を交渉したのであるが總選擧直後と同樣ヒットラーに全權を委任しなかつた爲めヒットラーは組閣を拒絶してゐる、大統領の意中は言ふまでもなくヒットラーを抑制してパーペン延長内閣を作るにあつたのであるが然しこの時ナチスは若干の黨員を入閣せしめて居るが、この事實は一方に於て大統領派がナチス彈壓から妥協への一歩を進めたものと見られ他方にはナチスが實質的に政權へ手をかけ始めたと見るべきである。

而して今回の政變に依つてヒットラーは昨年の總選擧直後から斷乎として主張してゐた聯邦首相の地位を獲得した譯で、假令パーペンを副總理に任命し且つその權限を擴張して大統領獨裁の實質をそこに殘すの策に出でたとは言へ、且つ又閣員の顔觸れを見るとき外相にはノイラート男、藏相クローシツク男等が留任しパーペンの外に大統領の御目付が殘つてゐるが、要するにヒットラーの主張が通つて首相がナチスの手に落ちたのであつてナチスの一大勝利であると言へる。即ち斯くしてブリューニング内閣からの一般の豫期（好むと好まざるとに拘らず）が茲に實現した次第で此の次の政變までにナチスが全的に獨逸政權を把握するか或は何等爲すなくして退却するか、ナチスの猛烈なる意志その意志に基く國家社會主義的建設計畫や火の樣な民族意識に發する對外政策であるが故にヒットラーの振ふ腕は二つの興味を我等に呼び起す。

盛大に行はれた　ギャラントンのレーニン祭

〔札蘭屯國通特信〕皇軍占據後の東支鐵道西部線札蘭屯は日一日繁盛に赴き、驛を中心とする東鐵附屬地も治安全く整つたが、一月二十七日レーニン九周年紀念追悼會はいとも盛大に行はれた

同日は午後七時三十分より札蘭屯驛前東鐵クラブに參集する者百卅名、會場正面にはレーニンの肖像が厳かに掲げられその左右には赤軍司令官ウオシロフ、騎兵司令官ブデンメイ等の寫眞並び、又會場側の壁には「五ケ年計畫の成功」「萬國の勞働者一致團結せよ」等のスローガンを配した赤、青の美しいポスターが貼り廻らされた、定刻メストコム委員長コミサローフ開會を宣し全員起立して「インターナショナル」を合唱、次で演說會に移り午後十時散會、翌廿八日は午後七時より同所に於て「敵」と題する十月革命當時の赤白、赤の闘爭を織込んだ劇が札蘭屯青年共產黨委員により演ぜられたが、三百近くの觀衆中に廿名ばかりの鮮人が見られたのは注目を惹いた

怪人凱歌（百三十四）

（映畫化上演）須藤鐘一　（畫）秋方

霧靄（十八）

白濱は、品川の日本演劇映畫俳優養成所と常春會の連絡關係に就いても、手分けして調査して知つてゐた。

で、その附近に自動車を止めて聞きあはせて見ると、既に千鶴子は所長結城につれられて、何處かへ出て行つたといふことが分つた。

それでは、もう會場に連れこまれたにちがひない。一刻も猶豫は出來ぬと、熱血正義團のタクシー三郎は、全速力を出して大阪道を西へ西へと疾驅するのであつた。

常春會の會場なる森かげの洋館の附近まで行くには、それから四十分とはかゝらなかつた。

先方に、それと氣づかれぬやうに、四五町ばかり手前で自動車をとゞめ、ばらばらになつて足音を忍ばせつゝ、折からの闇に紛れて洋館に迫つた。

洋館の燈火は夕闇につゝまれて狐火のやうにかすかに瞬いてゐた。

眞佐子は一人、自動車の中に殘された。彼女は、空地の森かげに乘り捨てられた自動車の中で、不安と恐怖に充ちた幾時間かを、ぢつと息を殺して過ごさねばならなかつた。

一方、會場ではプログラムの第二『白鷺譚』の幕が、今しも揚がつたところだつた。

たゞ見る眼前には、蒼茫たる黄昏の色の立ちこめた、郊外の空地の情景が展開して、點々と亂れ伏した枯草の根を分けて、さらさらと流るゝ小川の音。

遠景は、森かげの文化住宅、その洋館の尖つた屋根が空を刺すやうに聳え、窓漏る燈火が夢のやうにかすかである。

暗い夜空に星が二つ三つ。犬の遠吠え、郊外電車の過ぎる響き……。

舞臺は暫らく空虚。

やがて下手から宗紬カシミヤの袴を裾短にはき、銘仙の着物に、レーヨンのショール。パラソル、片手に本包をもつた一人の令孃が、急ぎ足にて登場。顔は夕ぐれのことゝて、よくは見えぬが、夕顔の花のやうに白くクッキリと浮き出てゐる。

彼女は脇見もしないで、さつさと大股に歩く。かゝと上りの編上げ靴をはいた、細いしなやかな足の運びが歩く拍子に、なまめかしく袴の裾から現はれる。

下手から出た彼女が、さつさと舞臺の空地を横切つて、將に上手へ入らうとした時、突然、森かげから一人の男が出て來る。

男は聲もかけず、女の背後に飛びかゝり、いきなり右手で頸部を扼する。

「あッ！」と魂ぎる女の悲鳴。

頸部を締められて、たゞ一聲しか立て得ず、手足をもがき苦しむ女を、男は更に引き倒して、仰向けに横たへ、その上に跨り、兩手で頸部を絞めつけようとした。

（こゝで、女は氣絶し、ぐつたりとなつてしまふといふのが、舞臺の筋書であつたが……）

此の時、突如として舞臺に駈けよつた黒影があつた。

見物席は、しんとしていはぶき一つ聞えず、皆な手に汗を握つて如何にと眼を見張る。

その黒影は、見物席から飛び出して來たものか、それとも舞臺裏から現はれたものか、誰もハッキリそれを認めることは出來なかつたのである。

彼は、無言のまゝ、ツカツカと男優の方へ進んだが、忽ち眼にも止まらぬ早業で、今や女の上に馬乘りなつてゐる男優を引き離してしまつた。

そして仰向けに倒れて、半ば意識を失ひさうになつてゐる女を、急いで抱きおこした。

『おい、しつかり！』

黒影は小聲で、しかし力をこめて女の耳元で呼んだ。

女はほつと夢のさめたやうに眼を見開いた。

一方、男優の方は、倒された拍子に、どこか急所を當てられたらしく、

『うん、ううん……』とうめきつゝ俯伏しに倒れたまゝ、ピリピリと手足の先を顫はしてゐた。（つゞく）

聯盟最後への道！？

首相園公を訪ひ最後の決意を聽く
かくてけふ臨時閣議を開き帝國代表部に訓令

〔東京三十一日發國通〕內田外相は既報の如く三十一日朝興津に到着し自動車で園公を訪問し久濶を述べたる後最近の聯盟の經過及び今後の見透しを詳細に說明更に昨日の臨時閣議に於て協議せる帝國政府の態度方針を傳へ老公の見解を求め長時間の懇談を重ね辭去した

最後的の回訓確乎たる內容
聯盟脱退の決意を有す

〔東京一日發國通〕一日帝國代表部へ發送すべき帝國の最後的訓令について既に閣議を始め元老重臣方面の意嚮も判明し、何れも外務省の態度を是認するに至つたので、三十一日午後外務省の手で全く脫稿し一日の閣議に附議したる上直ちに發送の手續きを採る筈だが同訓の內容は左の如し

一、帝國代表は昨年十二月聯盟十九ケ國委員會で作成せる日支紛爭決議案理由書末項、滿洲國否認の字句を全然撤去さるか、若し削除し得ざる時は否認の字句を抽象的に緩和修正せしむる意思ありや否やを今一度聯盟側に確むべし

二、若し聯盟側において滿洲國否認の字句を撤去されぬ迄も修正緩和する意思あるに於ては、我國も第十五條第三項の和協交涉の段階で聯盟と折衝の雅量を示すべし

三、聯盟が滿洲國否認の字句修正の唯一點だけでも認めざるに於ては、同樣第四項の發動も帝國としては敢て妨げざるを以て、全權は斷乎たる決意を以て折衝を行はれたし

四、第四項適用に依り滿洲國否認の勸告書を作成せる場合に我國に於ては聯盟脫退の決意を有す

け の際は齋藤總理が重臣を個別的に訪問諒解を求め特に脫退には樞府に諮詢する模樣である

起草委員會會議內容

〔ジユネーヴ一日發國通〕起草委員會は三十一日午後三時三十六分開會されたが、勸告を除く部分の報告は第二讀會に配布して研究した上多分一日午後の十九國委員會で採擇を求め、續いて勸告作成に進む意向でそれまでに日本から新提案が來る場合は十九國委員會は上記の手續を一時取止めて審議する筈である

理解出來ねば成行に任すのみ
園公訪問後首相語る

〔靜岡三十一日發國通〕聯盟の形勢は第三項か第四項かの分岐點にあり帝國政府は最後の回訓を發する必要があるので西園寺公の意向を訊くため內田外相は本日午前十一時靜岡着、園公を訪問した、二月一日の臨時閣議で右回訓を正式決定直ちに松岡全權に宛て回訓するが內田外相は車中に於て語る

聯盟國にも立場があらうが我根本的主張も亦聽いてもらはねばならぬ、さうしても理解出來ねば成行に任せて事態に善處すればよい、さう心配することはないよ熱河問題は起らぬことを希望するが滿洲國の內政問題故滿洲國で討伐をするのは自衛行爲で差支ない

滿洲國の秩序恢復
日本代表部から事務局に通牒

〔ジユネーヴ卅一日發國通〕聯盟事務局は本日日本代表部より通告された滿洲國の秩序恢復に關する通牒を發表し、同時に聯盟各國代表に配付したその內容は先づ滿洲國當局が滿洲に於て確乎たる政權を樹立した旨力說し次いで左の三項に亘る秩序恢復の經過を敍述したものである

一、黑龍江省に於ける掃匪行動の結果、同省內は全部靜穩に歸した

二、ハルビンに於ける英人ウツドラフ夫人虐殺事件後警察官隊の增加、その他の豫防手段が講ぜられ、その結果外人に對する暴行事件は皆無となつた

三、吉林省に於ける討匪事業により李杜、王德林の二主魁はソヴイエット領に逃入

聯盟の態度に對する我陸軍側の見解

〔東京一日發國通〕對聯盟の最後的回訓を前にして陸軍では昨日參謀本部陸軍省と意見を交換したが昨日午後四時左の見解に意見一致し外務省、海軍省に通告し國論を統一する

即ち十九ケ國委員會は勸告案と十二月の決議案とを以つて第三項と第四項を低徊してゐるが、我主張の根本たる滿洲國承認と皇軍の自衛權とを認めぬ以上第四項に行く覺悟をすべきで、その結果我主張と相容れない勸告案となる事明白であり聯盟と日本の正面衝突は行く所へ到達してゐた、聯盟を脫退しても事變以來の經驗に徵するも怖れるものは何もない、孤立外交も封鎖南洋委任統治等の問題に大した變化ありとは思はれず寧ろ脫退で困るのは聯盟自身であると

代表の引揚回訓後
臨時閣議を開いて協議

〔東京一日發國通〕政府では對聯盟策につき西園寺公の同意を得たので午前九時半總理官邸で臨時閣議を開き最後的回訓案を決定することとなつた、內田外相は閣議後宮中へ參內し陛下に拜謁し回訓案內容を委曲奏上する等代表部の態度引揚げや脫退の如き最後の態度は回訓を到着後の經過を見て決定さるべし代表部の引揚

最早や聯盟に啓蒙運動の要なし
衆議院々議で聲明か

〔東京卅一日發國通〕聯盟の形勢は規約第十五條第四項の適用不可避の狀態に直面するに至つたので、衆議院各派幹部は政府の最後的回訓に深甚の注意を拂ふと共にこの重大危機に對し衆議院として執るべき方策に關し非公式に愼重協議を進め、殊に政友會の一部幹部は聯盟の態度に關する最後的決意決定の上院內に硬軟兩論あるを遺憾とし、院議を以て帝國政府は聯盟存在の面目と實際的解決方法として第十五條第三項に據らしむべく、所有る努力を傾注したに拘らず、極東の事情に暗き聯盟諸國にしてあくまで第四項勸告案の方法によらんとする以上、此の上彼等に啓蒙運動は無意義である、よつて亞細亞に返り東洋全局の平和確保に努力すべしとの主意に基き國民總意の聲明によつて政府を大いに鞭撻することとし三十一日の豫算總會で齋藤首相に報告を要求したのであるが政府は進んで議會に報告すべきを期待してゐるから政府の報告を待ち然る後院議を以つて國民的總意を中外に聲明する事とならう

大亞細亞聯盟の結成運動漸次擡頭
歐米各國の滿洲共管案に對し日支次第に接近す

最近聯盟を中心とし歐米各國が滿洲の共管を密かに提唱し戰債問題解決不能から來る歐米資本主義の必然的崩壞を東洋市場の開拓によつて打解せんとする客觀的狀勢が國際聯盟の全面を通じて現れつゝあるに鑑み、從來の汎亞細亞主義と異つた日支滿三國並にスラヴ民族を加へた强固なる大亞細亞聯盟を結成せんとする運動が滿洲を中心に擡頭して來た

一、聯盟は汎ヨーロッパ同盟の變形せるものに過ぎず、日支紛爭解決に對する誠意は寸毫もない

二、平和の殿堂の假面の下に徒らに日支を爭鬪の渦中に置いて東洋奪取の爪牙を伸しつゝある

三、滿洲及び支那の一部を聯盟の委任管理に移さんとするは既定の方針である

此の意圖を看破せる日支兩國は中國有力政治家の覺醒によつて仇敵の如き關係を捨て共同の利害の前に手を握らんとする機運を釀成するに至り「亞細亞を亞細亞人の手に奪還するため歐米經濟ブロックに對する亞細亞經濟ブロックを形成し、武力同盟をも結ばん」とする運動が俄然表面化するに至つた、此の機運を見るに至るまでには蔣膽謝介石氏が「中國民に告ぐ」と題して發したステートメントが極めて有力であつたと傳へられてゐる

此の間滿洲國の密使は日支兩國に飛び、日本の○○中國の○○等と會見し一段と飛躍を見せたと言はれ本運動が聯盟に一大センセーシヨンを與へる日も遠くないと觀られて居る

起草委員會三時間廿分で散會

〔ジユネーヴ卅一日發國通〕起草委員會は審議三時間二十分の後午後七時十分散會した

明日は午前十時半開會される

局長室で開會

〔ジユネーヴ卅一日發國通〕第十五條第四項による報告書中勸告の部分を除き起草完了を目的とする九國起草委員會は卅一日午後三時四十分事務局長室で開會された

最後的回訓は奏上の上發せらる

〔東京一日發國通〕政府は一日午前九時半より首相官邸に臨時閣議を開き外相より園公との會見內容並に老公の對聯盟意見の報告を聽取し事務當局で斷行する最後的回訓を正式に決定することになつたが、閣議散會後外相は參內して天皇陛下に拜謁仰せつけられ閣議で決定したる回訓につき詳細奏上の上回訓の手續きを採ることになつてゐる

東拓外債の爲替差損
四百萬圓の補給問題

〔東京一日發國通〕東拓外債に對する爲替安に伴ふ差損金一四百萬圓の補給に就いて過般來拓務大藏兩省間で折衝中であつたが兩省間に完全なる意見の一致を見ないので、今議會提案までには尚相當時日を要するが、三割七分增四割程度の補給については大体異論がないので結局五百五十萬圓の補給をなすことに決定するものと拓務省首腦部は見てゐる所として議會提案の形式は七年度拓務省所管の追加豫算とする筈である

日本成敗の史蹟觀（下）
小川運平

三韓征伐と蝦夷征伐

敦賀港は、天然の良港なり、常宮神社は神功皇后を祭り、當時三韓征伐觀察既に三回、天皇は瀬戸內海より九州に赴かれ、皇后は日本海を筑紫海に航せられたるなり、上古日本海は三韓への航路なると共に、渤海國が滿洲北韓を領有せし當時は、又日本海航路を取り、敦賀の松原館は渤海國迎賓なりき、信濃川口の沼垂は、阿倍比羅夫の蝦夷征伐、根據地なり

佐渡は肅愼の漂流民居住地にして、又北方征伐の海軍根據地なり、今や新潟、直江津、伏木、敦賀、小濱、舞鶴、境は北朝鮮航路の重要港なり、松原神社を拜し、明治十一年天皇駐蹕の時、武田耕雲齋藤田小四郎等、水戸浪士の冤を憐み、其攘夷の先覺者たる功を嘉し、贈位の恩命を下し賜ふ、洪恩能く彼等の志を伸ばし、雖千攘夷、堅志、太平洋岸に達せず、骨を日本海岸に晒すも、偉人の魂魄は、白日に照らされて耿々たり、明治盛世、眞に一人の冤なし、嗚呼亦偉なる哉

上古の日本通路

吾は敦賀除雪の翠、木芽峠の險を越へて、琵琶湖東に出で伊吹山南を東行、關原を過きて德川三百年泰平の基を定めたる決戰場の天險を看て、不破の關、醒井に日本武尊の偉功を懷ふて、大垣、小原鐵心翁、賤ケ岳の功を想ひ、桑名に白川樂翁、津藩に拙堂の功を想ひ、伊勢灣を望んで、三國史魏志の日本行程を記する所を案ずれば上古の日本は琵琶湖を中心として、南は伊勢灣、北は敦賀に往還せしものなりき、斷ずる勿れ、大廟を拜し、聖蹟を瞻し、邦家隆盛を祈り、二見浦に興玉神社を拜し、鈴鹿關址、を北行、湖西を過ぎて大坂に入り豐公の雄略を感歎し、奈良古都に古人の偉蹟を觀、楠公祠に忠烈に泣き、白沙青松の海岸絕景、瀬路の一夜を航し既に朝鮮を北向す

日唐激戰の地

錦江流域天安の一夜、其北は是成歡驛、松崎大尉が日清戰役奮戰の地、成歡牙山は日本軍の淸兵を打破りたる處なるも、錦江は唐代百濟の國都あり、熊川、乃ち日本史にある白村江、千百餘年前百濟救援の日本軍は、即白村江唐軍に破られたる悲痛の遺跡なり、唐軍の優勢なりしは隋代遼東高麗征伐より水軍の發達、南北をかすめる運河の漕運、山東沿岸の海軍發達は、能く朝鮮の沿海を制するに足り、日本海軍を壓迫し去る實力を有したるに原因す

豐公の朝鮮征伐も一は海軍力の十分ならざるため、充分の成果を收め得ざりしなり、日清日露の二大戰爭が、最後の勝利を得たるは、陸軍の精鋭に加ふるに優秀なる海軍力を有したればなり

朝鮮半島二千年來の日本失敗の跡を鑑みて、鴨綠江を渡り千山山脈を西に過ぎ、柳城邊塞を北向し、コンガラプタン公の聖地、長春城外、伊通河邊に新國家、新京國都の一望感懷無量なり

三十年滿洲に往來し、居住し研究し、調査し、未來を想像し、近く月餘の旅程史觀を回顧略敍し、靜かに考慮するに又無限の感興なくんばあらず（一月卅日）

滿鐵增資案
大藏省の肚一つ

〔東京卅一日發國通〕滿鐵では麻布の社宅で午前十時頃會議を開き增資案を決定、午後八田副總裁は大藏、拓務兩當局を訪問して諒解を求めた、增資案內容は絕對秘密に附せられてゐるが大體八億圓に增資し增資株は政府と民間で折半して政府に六分配當保障をせしめると言ふにある、增資案は大藏省の肚次第で決定を見る譯であるが、高橋藏相に難色ありと傳へられ居り前途尙ほ相當曲折は免れまい

滿洲國通信滿文版發行

滿洲國通信社は創業以來當地に於ては日文版、英文版を發行し滿洲國內は勿論全世界に張廻された通信網を利用して時々刻々に動く內外事象の報道に當つてゐたが、今回更に滿文版を發行し廣く滿洲國人間に讀者層を求め正確且迅速なる記事を提供することにし二月一日第一便を初號に爾後一日二回（日曜日は一回）として引續き發行することゝなつた

鷲籠

□大亞細亞聯盟結成の氣運漸く日支間に擡頭す、宜なり、血は水よりも濃し

□首相、園公を訪ひ、帝國最後の肚決る、國土を焦土と化するも正義のため起つ、これ日本帝國の國民性なり

□さきに天理教布教師の不正乘車暴露、今また旅館業者の團体割引のインチキ發覺、今一番しめてかゝれば滿鐵の旅客收入增加、期して待つべきものあるべし

□最近新京署員中に素行修らず民衆に向つて不親切なりとの聲を聞く、一意昭和維新に殉ぜんと勉めつゝある善良警官の名譽のため斷の一字を高山署長にのぞむ

人事往來

△矢澤新京中學校長　一日午前八時着任

△三浦一義氏（地方事務所地方係公署主任）一日午後四時着任

△關口要藏氏（拓務省囑）三日午後七時五十分來京の豫定

貿易會館の設置
來る昭和九年度に
豫算は總額六十余萬圓で
中央通延長個所へ

〇〇線の開通に伴ひ新京對日本さの貿易は加速度的に發展することは何人も豫想してゐる處であるが新京商工會議所ではこの過渡期に望み

『新京』に最も必要性をおびる貿易會館の設置を最大の急務さなし、設置方につき具体案をねり關東軍特務部さ協議を重ねた結果設立準備を整へさきに永原會頭が全國商工會議所會頭會議に出席した際各要路さ接衝し一刻も早く貿易會館の設置の要ある旨を力說し商工大臣並に拓務大臣陸軍大臣に具體案を提出請願した、各要路も目下の新京には必要なる點を認めたが、商工省の意向さしては昭和九年度の豫算に計上する旨回答があつた會議所の具体案による總工費は六十萬圓三階建

『二階』では各府縣の見本展覽場さするもので、設置場所は大滿洲國の都市計畫による中央廣場前、現在の中央通延長による個所である、

事變前に比し
五千三百人の増加
事件前後に於ける日本人の新京における人口

新京警察署では新京の人口増加數に就て調査中のさころ一日完成されたが右によるさ事變直前即ち昭和六年八月末さ昭和七年十二月末さでは附屬地日本人人口は五割の増加を示し、滿人、朝鮮人も亦異常な増加振りを示してゐる、事變前並に十二月末各國人人口比較左の如し

	昭和六年八月末	昭和七年十二月末	増減
△内地人	一〇、三三八	一五、六二七	増 五、二八九
△朝鮮人	一、三五五	二、四八四	増 一、一二九
△滿洲國人	一〇〇、五八六	一二三、一六二	増 二二、五七六
△外國人	四九五	四四六	減 四九
△合計	一一二、七六四	一四〇、七二九	増 二七、九六五

滿洲國實業部
積極的に牧畜を振興
―軍馬改良卅年計畫―

滿洲國實業部では滿洲國產業の中心をなす牧畜業の振興奬勵さ品種の改良を計畫し、その第一步さして緬羊並に蒙古馬の改良に着手

『緬羊』にあつては滿鐵公主嶺農事試驗所で好成績を收めて居るメリノ改良種馬にあつてはアングロアラブ種を蒙古馬に配して新改良種を造り、全滿主要牧畜地に種羊並に種馬所を設置、積極的に畜產奬勵を圖るさ共に牧畜の發展に大障害を來す獸疫を豫防するため獸疫研究所を設置する外、大同二年度豫算に十萬圓を計上し、獸醫講習所を開設して獸醫の養成を圖り各屠場に配備して家畜衞生の監督統制を行ふ方針である

現在全滿の家畜類槪算は緬羊四百萬頭、馬二百七十萬頭、牛二百五十萬頭、豚九百萬頭で軍政部に於ても實業部の產馬奬勵さ呼應して軍事上の立場より全滿七萬餘の滿洲國軍騎兵に配給する軍馬改良卅年計畫を樹立、目下具体案の作成を急いで居るが、右は滿洲事變に於てよく難行軍に耐え各地に於て

『偉勳』を樹てた日本内地產馬の雄に蒙古雌馬を配して滿蒙の嚴寒酷暑にたへる新軍馬の產出を圖らんさするもので、軍馬改良に一新紀元を劃するものさしてその成功を期待されて居る

支那學生
盛んに盲動

支那學生の盲動は依然さして已まぬが最近米國系の北平燕京大學の學生十數名は抗日宣傳の爲熱河省に入り込んだ、南方學生二十四名も下窪北方の奈曼土府に於て盛に土民を煽動中である、又一月二十日頃灤州、昌黎附近に南方より到着した軍隊の大半は學生軍と云はれてゐる

熱河省内の
抗日軍
十八萬に達す

【奉天卅一日發國通】昌黎移駐を傳へられた孫殿英の軍隊は同地に止まらず熱河省承德に駐屯するに決した、これで熱河省内の抗日軍は張學良、湯玉麟土着軍を合して十八萬に達し抗日戰備を進めてゐる

ハイラルに
日本語熱高まる

【ハイラル卅一日發國通】皇軍入城以來滿蒙露人間には日本語研究熱は日本に對する愛の度の加はるにつれて愈々高まり、此の程開設された都市長肝入りの日本語夜學校への入學希望者の如きは定員六十名に對し露人七十余名、蒙古人二十五名、滿洲國人四十名の希望者あり、學校側では余儀なく「何故に日本語を學ぶや」の口頭試問により漸く露人三十五人、蒙古人十五名、滿洲國人三十人計八十人丈けを收容した

右露人中には婦人十九人あり卒業は每晩三時間で六ケ月だが、小は十五才から六は四十弊才の老頭兒まで熱心にアイウエオをやつてゐる圖は全くほゝ笑ましいものがある

阿片卸小賣人
十日迄には正式決定
―阿片專賣準備成る―

滿洲國財政部では阿片收買も去る廿日をもつて完了、豫期以上の好成績を擧げ阿片專賣に關する諸般の準備も整つたので遲くも十日頃までには阿片專賣事務を開始する事となり、目下阿片卸並びに小賣人の最後選定を急いで居るが、同部では利權問題をまき起し易き卸小賣人指定はあくまで嚴正に決定すべく、四五日中に正式發表を見る筈である

勸業銀行設立案
愈々具体的に進展
―本店は新京に設立―

滿洲國財政部に於て計畫中の滿洲國勸業銀行設立案は着々さ進展して居るが、滿洲國經濟界の現狀に則して最初のハルピン、奉天、南北滿各一行案を捨て全滿一行主義を執り本店を新京に設置、資本金も中央銀行さ同額の三千萬圓、半額を二分ノ二拂込みさし、其他は東拓中銀引受けさし、其他は東拓をはじめ日滿各財團に振當てるさ共に、一般よりも公募する方針で、本年六月頃までには具体案の確立を見る筈で、同部理財司に於て調査準備を進めて居るが、新勸業銀行は從來の勸業銀行さ農工銀行の機能を具備せしめた滿洲拓殖銀行さも稱するべきもので、中央銀行さ密接なる關係を持して將來地方農工、商工銀行並びに金融組合の親銀行さして農商工金融の中心機關をなすものであり、近く制定される新銀行法により日本勸業銀行同樣拂込金の十五倍に當る勸業債券を發行する事となる模樣である

新京街頭風景
(E)

警務局長さんに
一言申上ぐ
朝日通り裸の巡査に
ひきずり卸さる

林警務局長さんが滿京中だから幸ひ昨夜朝日通り交番で起つた事柄を事實のまゝ申しあげ、近ごろ漸く市民から非難の聲が起りかゝつた警察官の態度、執務ぶりについて御參考までに御傳えしたい

×　×　×

午後十一時ごろのことです、私はある要件（このことも甲上げてよいが何か事々に當るやうに思はれるから、殊に廳保安主任が悉く承知だから其の儀）で派出所を訪れた、赤シャツを着た男が巡査さ巡査の中にゐる「ハヽアこいつ手癖が惡くてひつぱられやがつたナアさピンさ來た、併しそれにしても椅子に腰をかけてゐるのはおかしいさ思ひながらも、そんなものには用はない、その行懸りの一月余も前に書換を願つた拳銃所持證明書がごうしたものか十回も督ひに行つてまだ出來てゐない「まだでございませうか」さたづねた處、その裸の男が「あちこち引つ越して步くからだ」さのお言葉「はア色んな都合で越しましたが寫眞もあることでせうし、本人に間違ひありませんからお渡し下さい」さ願つた

×　×　×

然るにごういふ譯か、あすお前の家へ持つて行つてやるさのこさ「私、晝間働きに行つて居りますからけふ御渡し願へませんか」さ、も一度願つてみた「晝間ゐなけりや夜でもいゝ」「え、そうでせぅが何も忙がしくゐたりゐなかつたりですからけふいたゞけませんかさ更にお願ひした、でも默目だ「そんなら何時までも渡せねえさの言葉、一たいそんなべら棒な話があるか、さ思ひつゝも、何か別の問題で憤慨してゐるさころだつたらう、さ思ひ直して「ぢや宅の方へ願ます」さいつて出た（この間約二十分）裸でも寒くない人らしい

×　×　×

然るに私はさても大したそそうをした、お番から出がけにトンビの具合でドアーが少しもしまらなかつたらしい、待たせておいた車に乗つて歸らうさするさ、先程の裸の巡査が目をこわくして飛び出して來て、いきなり戶を締めて行かんかさ車諸共横倒しにならうさする乞强くひいた（お陰でトンビのボタンはちぎれた）「あまり無態なこさをするなよ」さいひつゝ、拳銃がこわいからドアーを締め直して歸つた、これは事實を事實のまゝ申上げたまで、以上林警務局長閣下の耳まで（古閑敏）

滿蒙對策
有志會
東洋の平和を高調

【東京卅一日發國通】滿蒙對策有志會は午前九時より院内で準備委員會を開催し、二十名出席討論の上左の宣言綱領の原案を決定、各派より十五名以上の發起人を選定し、二月十日大會を開催する事に決定、午後一時散會した

宣言

日本が進んで滿洲獨立を支持して日滿經濟提携の必要を高調するは畢竟支那さ提携の道を開き東洋平和の目的を遂行する決意を表明するものなり

綱領

東洋政策の確立さ對滿國策の適福なる實現を期す

森本警務課
長訓辭

管内各署巡閲の森本警務課長は一日午前十一時から署員全部を署内振武館に集め一場の訓辭をなした

天下好の匪
我が軍に急襲され
死體を遺棄逃走

三十一日午前八時三棵樹守備隊は自動車に分乘しハルピン東方約一四佟家店にある天下好の率ゆる二百五十の敵匪を急襲したるに敵は死体三十、馬四、兵器多數を遺棄して東方に逃走した、守備隊は附近の掃蕩を行ひ正午頃歸還したが我損害は兵二名輕傷

臚濱縣廳を
北分省駐滿辨
事處と改稱

興安北分省が成立したので臚濱縣制は自然廢止さなり滿洲里にあつた臚濱廳は北分省駐滿辨事處さ改稱するに至つた、滿洲里の在滿邦人は十二月下旬以來漸次歸還し市内は再び活氣を呈してゐる

學良の寶物賣却に
市民何れも激憤

曾て噂のあつた學良の北平故宮の寶物賣却は愈よ米國側委員さ交渉が成立したので廿九日以來秘密裡に之を搬出してゐるさ、この事情を洩れ聞いた市民は非常に憤慨してゐる

お化けの晩
屋外變裝は不可
けふ新京署から各
組合へ嚴達

三日の節分は市内の各料理店飲食店、カフエー等では例年の通り種々の催しをなし定例による藝酌婦、女給等の思ひ思ひの變裝は常連をやんやさいはせるであらうが、新京署保安係ではこれ等變裝者であまりさつびに過激な、そして風紀を攪亂する樣な變裝をなし街頭を右往左往する樣な事があつては風紀取締上は勿論新京の現狀は平穩に復しつゝあるさはいへ、未だ戰時狀態を保待してゐるので、唯屋のみに止めおく樣一日齊藤主任は各組合長へ嚴達した、なほ當日これに違反した者があれば遠慮なく處罰を取る由である

高等課生試験
十五名增加

新京署では一日午前十時から樓上に於て高等課生の試驗を行つたが受驗者十五名であつた

小學校の入學兒童
三百四十四人
昨年より五十人も多い

卅一日までに新京地方事務所へ屆出た入學兒童數は三百四十四人、昨年の入學兒に比し五十人の增加を見た、おの内室町校入學兒百八十人内男子九十六人、女子八十四人、西廣場校百六十四人、内男八十三人、女八十一人である、なほ幼稚園入園申込は百九十五人、内男百二人、女九十三人に達しいづれも昨年に比し增加を示した

團体割引券
ゴマカシ暴露
滿洲人の二旅館

大連豐順棧及三義興の二旅館は奉天に支店をもち相連絡をさり大連、奉天間を旅行する滿人に對し大連及奉天の車馬賃を提供するさ稱し客を誘致し旅館に宿泊せしめ、大連、奉天間の旅行者を團体にまさめ二割の割引を受け賃金を着服してゐるさて最近滿鐵々道部が發見し右は旅客をあざむき且つ不正團体であるため前記團体に對しては割引券を發行せざる樣各事務所に通達があつた

遺骨南下

二日午前九時新京發列車で飛行隊吉井上等兵及經理部松本技手の兩遺骨南行

原分隊長
五日着任

新任、新京憲兵分隊長原少佐は五日午後三時五十五分ハルピンから來京着任の豫定である

商業生四平街で
六日演奏

（四平街支局發）既報演奏の旅にある新京商業學校生徒のハーモニカバンド一行二十五名は六日來四午後七時から當市滿鐵社員俱樂部ホールに於て演奏會を開催

九門守備隊
奮戰

九門守備隊は三十一日午前四時より六時半に亘り數次敵の攻擊を受けたがその都度敵匪に損害をあたへ擊退した

吉敦線列車
立往生

今朝六時三十八分吉敦線六道河、額赫穆百八十キロメートル附近にて上り第十四貨物列車に連絡してある無火破損機關車一輛は運轉中脫線立往生した、目下のさころ復舊見込つかず

堂本事務官
登廳

朝鮮總督府派遣員主席堂本事務官は過般來天然痘で滿鐵病院に入院加療中の處この程全快さる二十七日退院三十一日から出勤した

守備隊附屬
家屋出火

昨三十一日午後六時半敦圖沿線變電所守備隊附屬家屋に出火未だ鎭火せず目下盛んに燃燒中で原因その他不明

吉凶禍福

死亡（卅一日屆）
△東四條通十二番地故田懸治三十一日午後四時死亡

花街
何と朗かさ

八千代館の小八千代姐ちやんのお話、まだ殘つたことがありますからついでに今日御紹介致します、八千代館黨は御承知の通り喜千八姐さん、蔦江姐さんなぞが去年からブラ〳〵やまいブラ〳〵やまいなんてエさ戀わづらひかさ思はれるかも知れないが、左にあらず、喜千八姐さんは心臟がよくない、蔦江姐さんはごこが惡いさいふこともなくたゞ病魔にとざされてブラ〳〵なんだるうであります、同じ部屋に驚筒をもつ小八千代、彼女等の寢てゐる枕もさを着物の出し入れに廻りますをつかまへて退窟まぎれに何さかかさか文句をつけて憂さはらしをするさうです、これは蔦江姐さん本人のざんげ、或晩また例によつて口あらそひ、終局は小八千代も負けてゐないそんなにうるさけりやあたし出て行く、あとでゝ行くがいゝ出て行つてラシャメンにでもなれ、なるわよラシャメン結構ぢやないの、さ、答へるので蔦江姐さん顔まけがして退却した、さて別に根も葉もある譯でないからすぐその場で和平克復、姐さんラシャメンてなアに、さんな知らないの知らないでラシャメンになるさ云つた？エ、知らないさ思はれるさ癪だから云つたんだワ、そうさてもいゝ商賣よ世話してあげやうか、エ、是非お願ひするワ…何さ朗かなる小八千代よでせう

ラジオ欄

二日（木）奉天
奉天後九、〇〇　レコード
錢行　金銀相場商業通信社
新京後五、二〇　演藝
奉天後五、四〇　講演　滿洲婦人の職業　協和會員　于若蘭
東京後六、〇〇　ニュース　東京中央放送局編輯
新京後六、二〇　時事解說（滿洲語）氣象豫報及滿洲語ニュース
新京後七、三〇　ニュース（英語）
新京後七、四五　ニュース（露西亞語）
新京後八、〇〇　ニュース（朝鮮語）
新京後八、一五　ニュース　氣象豫報、放送局編輯及プログラム豫告
東京後八、三〇　時報
新京後八、三一　講演　東部線討伐に參加して（内地向）　廣瀨部隊〇〇隊長　陸軍步兵大佐　人見順士
東京後八、四五　ニュース　東京中央放送局編輯

雪の巻

凄艶紅淚双（一九五）

（城上の巻）　鈴木彥次郎作　飛鳥久樹畫

巨彈一發！武器庫に命中し、中に一杯積まれてゐた火藥が爆發したのである。

めらめらと城閣をなめる紅蓮の舌！

その猛火に、面をそむけ、蒼龍窟は、一圖に、東をさして彈雨をくぐりぬけ、突き進んだ。

めざす行手は、城東の悠久山——牧野家中興の英主忠辰公をはじめとし代々の遺靈をまつる蒼柴神社である。

——老公、藩侯、御一族は、無事にたち退かれた、けれど、神位を敵に汚されては！

蒼龍窟は、矢も楯もたまらなかつた。

「心配するな、一粒の米を二つにさいても、食はさずに置かぬぞ安心しろッ」

逃げ惑ふ市民達にむかつて。

いて、口々に、身にせまる苦難を訴へては、救ひを乞ふ。

長岡萬餘の市民は、河井繼之助ただ一人を杖とも、柱ともたよりきつてゐるのだ。

「みなにはとんだ難儀をかけて相濟まぬ、だが俺を信じてくれ。蒼龍窟の眼の黒い限り、必ず、再び長岡を回復して、一同に今日の詫をいたすぞ！」

蒼龍窟は、斷呼として、言はなち、蒼龍窟は、悲憤のまなざしするどく西の方猛火のうちに隱見する浮島城をみぢいつと見つめてゐる。

折から、老母に手を曳かれて遁れきたつた、十二三の小娘蒼龍窟の姿を、ちらと見るやいきなり、すがりついて、ワッと泣き出しながら。

「河井さま！昨日が昨日まで長岡は大丈夫とおつしやつてゐながら、今日のありさまは何事でございますッ！」

と、甲高い聲をふりしぼつて問ひつめた。——料亭桝屋の娘、河井家代々ゆきつけの家で、子供のない蒼龍窟が、日ごろ我子同樣に可愛がつてゐるむすめである。

老母は、泣きわめく娘の袖をひいて。

「なにを馬鹿云ふんだね。」

とたしなめる。

だが、娘の誰憚らず云ひはなつた、眞實の言葉に、蒼龍窟は、ぐいと胸をつかれた。

「おとし坊か一言もない、俺の一生の失策だゆるしてくれ！」

娘、肩に手を置きながら、涙に曇る一言！

さすがの蒼龍窟、顔をそむけて暗涙にむせんだ。

長岡市中は、火の海、修羅の巷、勢ひに乘つた、西軍は四方から續々と、侵入してくる。

大聲に叫びながら、彼は、まつしぐらに、社前へはせむかつた。

「おゝ、河井さま、御家老さまがおいでぢや。」

すでに、境内を埋めんばかりの逃集まつてゐた長岡の町人どもは蒼龍窟の颯爽たる姿を認めるや、老いも若きも、一齊に、聲をたよりに、たよりすがる。

だが、彼は、一氣に、社殿に走りのぼつた。そして、傍に、うろつく神官の姿に、きつと瞳をそゝぎ。

「これ御神位は如何致した。」

「は、はい、先程、花輪さまがお出なされて、手早く——」

「おゝさうか、それで安心いたした」

——ここまでもゆきとゞいた花輪彥左衛門は、たち退く道すがら蒼柴神社にたち寄つて神位を奉じて、落ちのびたのであつた。

やつと、胸をなで下した蒼龍窟は、つかつかと社殿を下りてきた。

群衆は忽ちどつと彼をとりま

けふの運勢　二月二日

舊正月八日　木曜　己亥　友引　開　井宿

●一白の人　物の運び遲くとも倦まず堅實に進むが吉し　卯と申と丑が吉
●二黑の人　運氣開展の日開店旅行婚儀建築等何れも吉　辛と壬と癸が吉
●三碧の人　物事が順調に運び行きて心安らかなるの日　丙と丁と辛が吉
●四綠の人　一時の進展に心許すな午後は遲滯し易き日　丙と丁と丑が吉
●五黃の人　次第に好轉して諸事の運びは早かるべき日　坤と酉と辛が吉
●六白の人　進退共に自由を欠くの日靜かに本業を守れ　乙と申と酉が吉
●七赤の人　微運にして諸事遲々たるものなり焦るは凶　坤と庚と癸が吉
●八白の人　刻々に勢力を增し來るべし努力益々功あり　申と酉と壬が吉
●九紫の人　順調に見ゆれども見込違ひの爲損するの日　辛と壬と丑が吉

南滿線
大連開　周水子　金州　普蘭店　瓦房店　熊岳城　蓋平　大石橋　海城　湯崗子　鞍山　遼陽　蘇家屯　奉天到
奉天開　鐵嶺　開原　昌圖　四平街　公主嶺　范家屯　長春到
長春開　范家屯　公主嶺　四平街　昌圖　開原

昭和八年九月十日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

定價 一ヶ月 [illegible]
新京永樂町一丁目 發行所 新京日日新聞社
發行人 [illegible] 編輯人 [illegible] 印刷人 [illegible]

九國起草委員會 愈よ細目の檢討へ 卅一日は意見纏めに成功 二日午前十時半再開

〔ジュネーヴ卅一日發國通〕本日午後三時四十分より開かれた起草委員會は規約第十五條第四項に據る報告書中勸告の部分を除く他の部分の第二讀會を完了し事實上其の全部に亘つて意見の一致を見、最も問題となつた支那のボイコット問題並に日本の自衞權問題に就いても九國委員の意見を纏め上げる事に成功したと確聞する、委員會は更に明日午前十時半より會合を開いてアイルランド代表レスター氏より出された提案並びに二、三の細目の點に就き審議する筈だが、更にその他の部分に就いても愈々檢討を開始するものと期待されてゐる

ボイコットと自衞權發動問題 起草委員會で意見一致す

〔壽府三十一日發國通〕九國起草委員會が本日の會議で意見一致したボイコット問題並びに自衞權問題に關する部分は左の如く確聞する

一、ボイコットは批難すべきものであり、これが日本との關係を更に緊張させることに貢獻し且挑發的のものであつたことは認めるが同時に一昨年九月十八日以後に於てはボイコットが高壓的行動に對する報復手段の性質を有するものであると思惟する

一、自衞權問題については斯くの如き主義の承認することは出來ない、即ち日本が假令其の行動をもつて自衞權の發動なりと主張するも何國と雖もこれが爲に規約第十二條（國交を斷絶する虞れある時）の規定する義務を免除するものではない

此點支那側でも日本と同樣自主權を主張し得るものである、報告書は右の主旨を記載すると共にこれに附隨してリットン報告書中の日本の行動は正當なる自衞權に基くものと認めることを得ずとの句を引用してゐる

尚ほ滿洲國承認問題は本日迄の會議に於ては討議されず昨日の起草委員會で勸告の部分が始めて審議されるに際しこの問題も討議されるものと見らる

聯盟が今日の深みに入る迄 斷乎たる日本の態度

日支紛爭を解決するといふ國際聯盟會議は昨年十一月以來一旦リットン報告の審議を終つた、而して去る一月十六日再開されるまでに、十九人委員會を順調に進めるため聯盟事務局では事務總長ドラモンド氏をして一の試案を作成せしめ之を日本に內示した、然し乍らその案は日本として到底承認出來ないもので、あつたので日本は杉村聯盟事務局次長をしてドラモンド氏と折衝せしめ一の妥協私案を得た然し乍ら之も

（一）聯盟會議に非聯盟國を招請せんとしたり
（二）滿洲國の成立を非認せんとしたり
（三）誤謬だらけのリットン報告そのまま採用せんとしたりする

極めて杜撰なものである所から日本政府は斷然之が

『修正』を要求した　而してその交渉中に一月十六日が來て十九人委員會が開催されるに至つたが、約二週間を經た今日依然として日本と聯盟との妥協は困難であつて正に聯盟と日本とは正面衝突をなすべき狀態に迄達して居る、即ち、十九人委員會が企圖して居る所は國際聯盟規約第十五條第三項に從つて和解させやうと云ふのであるが若し十九人委員會がこれに失敗すれば委員會は日規約第十五條第四項に從つて右委員會の決定した解決方式に從つて解決すべしと云ふ勸告を載せた報告を公表すると云ふのである、然も之れに若し從はなければ日規約第十六條の制裁規定を發動して經濟封鎖をしやうと云ふのである、現在聯盟は何とかして日本を

『讓步』せしめやうとして居るが、日本は前記の如き修正が容れられなければ折角出來た滿洲國を否認し滿洲を再び戰禍に落さなければならないし更に日滿兩國の提携に依つて極東に王道政治を布かんとする日本の極東和平政策も畫餠に歸するので、若し聯盟が飽く迄も極東の事情を諒解せず徒らに聯盟の面子を立てる事のみに汲々として日本の要求を容れず、第十五條第四項に移すならば日本は聯盟を脱退する事に決定して居る、今日の聯盟は畢竟歐洲聯盟に過ぎず極東の和平に對しては殆ど何等の效能もなく、その制裁規定たる經濟封鎖の如きも何等實效を期待する事が出來ないのであるから、滿洲國政府に於ても先般來

『極力』日本に對して聯盟を脱退すべしと慫慂して居る位で聯盟のからした空騷ぎには構はず日本は一意日滿の平等なる共存關係を增進せんことに努めて居る

三十一日の衆議院本會議 蠶業政策で質疑應答

〔東京卅一日發國通〕本日の豫算總會續き

砂田重政氏 齋藤首相は前議會で國民所得の增加を圖る爲め徹底的の政策を今議會を通じて實行すると言明したが果して首相はその計畫を有つてゐるか

齋藤首相 その考へはあるが即座に實行することは不可能である

砂田氏 九、一五事件の眞相を明らかにされたい

大角海相 豫審中で發表することは出來ない

砂田氏最後に政黨政治を强調して質疑を打切り、加藤知正氏得意の蠶絲業政策について首相と質疑應答、次で中亥歲男氏豫算收支均衡の爲め相續稅、資本利子稅、第二種所得稅に增稅し國債換落による利益所得者に對し特別課稅をする意志はないか

齋藤首相 政府としても稅制の改正を必要と認めて目下その準備を進めてゐる

かくて加藤知正中亥歲男兩氏の質疑未了のまゝ正午休憩に入つた

午後一時三十分再會、午前に引續き加藤知正氏が蠶絲業者保護に關して質問を繰返し、

中亥歲男氏 全國購買組合會が免稅又は低利基金融通の特典を以つて中小商工業者に對抗することにつき政府の所見如何と述べ

後藤農相 公益的性質を有するものであればその範圍の事業に制限出來ぬ

津雲國利氏 一月二十日法制局發表の明徵事件解決文は奇怪千萬であると法文に對する司法省の見解を問ひ

小山法相 大藏省の慣行により脫稅とならずと答へ、更に木村刑事局長から詳細說明あり津雲氏執拗に堀切長官、中島主稅局長を代り代り引つ張り出して問ひ詰め、質問未了のまゝ午後五時五十七分散會

貴族院本會議續き

〔東京卅一日發國通〕本日の貴院續き

長野忠次氏 我國最近の趨勢は信用時代だ、之に應ずる爲めには統制經濟によつて產業の根本方針を樹立せねばならぬ

と前提、蠶業の發達、滯貨生絲の處分、人絹の發達に伴ふ蠶絲業者の將來に關する政府の處置に關し該博なる生絲智識を振り廻し一時間の質問を試む、之に對し

後藤農相 生絲將來の販路擴張、生產費節減品種改良と相俟つて人絹と並び存在し得るものと信ずと答へ、最後に坂本彰之助氏希望し、長野氏は時節柄富籤の努力を要望し一日も早く統制の實施をと質問要求しかくて午後零時二十分散會した

一月の全國輸出入額

〔東京卅一日發國通〕大藏省發表によれば一月中に於ける全國十六港の外國貿易概算は左の如し(單位千圓)

輸出	五四、五三三
輸入	七六、二一二
合計	一三〇、七四五
入超	二一、六七九

日露不可侵條約 早晩締結される モロトフ氏聲明す

〔モスクワ卅一日發國通〕モロトフ氏は大要左の如く聲明した即ち

露國は滿洲國、日支紛爭其の他列國に對しては不干渉主義だ、日露不可侵條約は早晩締結されるものと信ずる

本庄中將等大將に進級す 陸軍の定期異動で 將官級進級者內定

〔東京一日發國通〕陸軍の三月定期異動に就ては先般來陸軍省人事局杉浦人事局長等で調査中だが上旬迄に詮衡を終り三長官と最後協議をなす筈で今回の異動は荒木陸相就任以來最初の手腕を振ふものであり部內外より期待されてゐる、今回の異動の新味としては中佐以下の下級中堅將校の進級が從來に比し多いことである、內定した進級の主なる顏觸れは大體次の如くである

參謀次長兼軍事參議官中將眞崎甚三郎、軍事參議官中將本庄繁を大將に任ず（各通）下志津飛行學校長少將淺田禮三、步兵第十二旅團長少將筒井正雄、參謀本部第一部長少將古莊幹郎、陸軍士官學校長少將稻垣孝照、第十師團司令部附少將清水喜重、步兵學校敎育部長少將香月淸司、自動車學校長少將飯田恒次郎、騎兵第三旅團長少將市瀨源助、參謀本部第四部長少將西尾壽造、陸軍戸山學校長少將澁谷伊之彥を陸軍中將に任ず（各通）

昨日の衆議院本會議

〔東京卅一日發國通〕衆議院本會議は午後一時十九分開會日程に入り七年度歲入歲出總豫算追加、七年度各特別會計歲入歲出案以下を一括上程し山崎豫算委員長登壇、委員會の經過並に結果を報告し討論に入り、瀧田國松氏、櫻內幸雄氏、野田文一郞氏は各黨を代表し、賛成意見を述べ一括して上程滿場一致可決、次いで樺太事業公債法改正法律案及朝鮮公債中の改正法律案の兩案を一括上程堀切法制局長官より詳細說明ありて委員會附託、終つて議員提出案の審議に入り未成年者飲酒禁止法を上程、丸山浪彌氏の說明あり、これに對し文相、齋藤內務、堀切大藏兩政務次官より取締りが困難でありその案は反對だと述べ、次いで司法代書人法中改正案外七案を上程しいづれも既設委員會に附託して二時四十分一日休憩

〔東京卅一日發國通〕下院本會議は午後四時五十分再開日程を變更し昭和七年法律第一條中改正法律案（滿洲事件費に關する經費支辨、公債發行に關する件）を緊急上程、委員長金光庸夫氏委員會經過を報告し濱田國松、前田房之助、野口文一郞氏等それぞれ賛成意見を述べ、採決の結果滿場一致可決確定午後四時五十五分散會した

吉林省內の一月中特產出廻

吉林省內の一月中の特產物の出廻は八千七百六十三石、內大豆七千七百五十八石、小豆百三十九石で、約五十七車に達し、昨年同期に比し千九百六十五石の增加を示してゐる

なほ出廻地方別に見ると、松花江右岸吉長線沿線四千百二十七石、同左岸沿線北部十四百十石同南部二千二百二十一石この內中央銀行の買付は一千九百五十八石に及んでゐる

滿洲國商船の黑龍江航行問題 露國貿易の殷盛を企圖

〔黑河卅一日發國通〕黑龍江は解氷期を待つて滿洲國船舶の黑龍江航行問題につき協議を開始する希望を有し時機到來と共に在黑河蘇聯領事と滿洲國航務局代表との間に右交渉を開始し兩國の沿岸貿易を盛んならしめんとする意向であると言はれてゐる

上海の寶田紡績 日華蠶と提携して 青島進出を策す

〔東京一日發國通〕上海の寶田紡績と山東省の片倉系の日華蠶絲とが提携して青島に紡績會社を新設計畫が進められ居り四、五日頃寶田紡績の西川專務の歸朝を待つて具体的交渉に入る筈

新計畫內容

一、兩社の半額出資で資本金三百萬圓とす

一、出資は日華蠶絲より同社の青島工場の敷地に二千坪の建物を提供し寶田紡績は綿紡機を出資して製絲廠を廢棄し綿紡工場に變へることとなるが計畫動機は日華蠶絲が近年原料高と職工關係で採算されず困つてゐるところへ寶田紡績が安全なる青島進出を狙つたわけだ

本年度四平街 驛貨物收入

〔四平街支局發〕記錄的超記錄期に這入つて居る四平街驛貨物先輪送高は日を追ふて活動化々しく七年四月以降本年一月末日現在迄の貨物輪送高は實に發送二十三萬六千七百五十七キロ、到着十五萬三千五百四十キロ、連絡輪送四十七萬二千八百二キロ、四洮線送込二十八萬三千九百五十二キロに達し、此の運賃收入金七百二十七萬三千六百四圓、現況よりの推移をみるに本年度內優に一千萬圓の收入は確實と認められて居る、昨六年度は發送四十八萬六千七百五十七噸、到着二十六萬六千百九十五噸、連絡輪送十一萬一千六百七十五噸、四洮線送込十萬九千三百二十九噸、此の收入金六百七萬千九百三十圓を示して、全線各驛發送高統計の上に於て第四位到着の上に於て第十位となつて居たが本年度の現況よりするときは數位を上し四平街の名實共に輸ける等位に確するを認められて居る

新京發送貨物

大豆	三、一五〇瓩
豆粕	六一瓩
雜穀	三四五瓩
その他	三五九瓩
計	三、九一五
中東連絡	
大豆	一、三五〇瓩
豆粕	一五三瓩
木材	一五瓩
計	一、五一八瓩
吉長連絡	
大豆	四、〇八〇瓩
木材	一六三瓩
其他	三〇瓩
計	四、二七三瓩
總合計	九、七〇六瓩

經濟欄

海外經濟

▲銀塊及爲替

倫敦銀塊	[illegible]
同遠限	[illegible]
紐育銀塊	[illegible]
孟買銀塊	[illegible]
米英爲替	[illegible]
米日爲替	[illegible]
米支爲替	[illegible]
スチール株	[illegible]
カナゴンダ株	[illegible]

▲綿花

●米綿 現物	[illegible]
三月限	[illegible]
五月限	[illegible]
七月限	[illegible]
九月限	[illegible]
十一月限	[illegible]
十二月限	[illegible]
●印綿 ベンゴール	[illegible]
ブローチ	[illegible]
オムーラ	[illegible]

各地市場

▲大連鈔票 現物 [illegible] 近期 [illegible] 遠期 [illegible] 寄付 [illegible]

▲阪神日米 第一回 [illegible] 第二回 [illegible] 第三回 [illegible] 引値 [illegible] 高値 [illegible] 安値 [illegible] 最高 [illegible] 步値 [illegible]

▲阪神日英 [illegible]

▲上海標金 昨高安後步 寄値 止値 [illegible]

▲上海日本向 第一回 [illegible] 第二回 [illegible] 第三回 [illegible]

▲上海倫敦向 [illegible]

▲上海紐育向 [illegible]

▲大連上海向 [illegible]

▲大連臺灣台河 [illegible]

▲大連特產 ●大豆 寄 引 袋込 二月 三月 四月 五月 [illegible] ●豆粕 現物 二月限 三月限 四月限 五月限 [illegible] ●豆油 現物 二月 三月 四月 五月 六月 [illegible] ●高粱 現物 二月限 三月限 四月限 五月限 六月限 [illegible]

▲哈爾賓特產 ●大豆 二月 三月 四月 [illegible] ●麥 二月限 三月限 四月限 [illegible]

▲カルカツタ麻袋 [illegible]

▲大連麻袋 現物 二月限 三月限 五月限 六月限 七月限 出來高 [illegible]

▲大阪株式 大株 大紡 東株 鐘紡 新 [illegible]

▲同短期 [illegible]

▲大連株式 [illegible]

▲大阪期米 當限 [illegible]

▲仁川期米 中限 先限 [illegible]

▲大阪三品 當限 中限 先限 [illegible]

▲大阪棉花 三月限 四月限 五月限 六月限 七月限 先限 [illegible]

▲橫濱生糸 當限 先限 [illegible]

▲神戸豆粕 現物 當限 先限 三月限 四月限 五月限 [illegible]

新京市況

大豆現物	一三、二〇
出來高	十一車
錢鈔	九九、三〇
鈔票對金票	九九、六五
大洋對金票	九七、九〇
國幣對金票	九七、七〇
現大洋對鈔票	九八、二〇

新京會館舞踊場に
又も壯漢の憂國演説
國境警備隊員と稱する三人組
新京署で正體調査

市内三笠町ダンスホールキヤピタルに去る廿五日夜突然數名の怪漢が現れキオンライトとジヤズの交叉に陶酔して踊り狂つてゐる紳士、淑女に暴行を働き演場をへいげいして觀樂場破壞の演説をなし去つた暴力團に對して新京署司法係では事件を極秘に附して犯人逮捕に奔走中の處、如何にも當局を嘲けるかの如く三十日又もや新京會館に現れ、今迄觀樂のふん圍氣に抱まれ、丁度踊もクライマツクスに達したと思はれる十一時半頃カーキ色の滿洲國軍服を着用した三名と木綿着物に袴をはいた一名の青年が突然現はれ指揮者に舞踏中止を命じ「我々は滿洲國々境警備隊員であるが我等の同輩は今北滿の國境で零下四十餘度の酷寒と戰い高梁飯を食つて苦心してゐるのに君達は……」云々と演説をなしマチヂヤーにも「もう少し考へてもらいたい」と意味深い言葉を殘して立ち去つたが其の正体は果して何者であるか司法係の目は鋭く光つてゐる

最もなこと！
立派な言葉でした
新京會館では語る

右壯漢亂入に關し新京會館マチーヂヤーは語る

なーにたいした事もありませんでした、他の客と同樣にちやんと入場券を買つており、至つて温しく立派な人ばかりでした、あの人方の言はれるのは尤もな事で立派な言葉だと思います、當日も短い演説が終つてから一同の柏手に送られて温順に出てゆきました、然しホールに來て直接行動に出られるのは面白くない事です、理由の如何にせよやはり營業妨害になりますから

社會各層では
これを何と見る

ただダンスホールにおける壯漢のちん入は最近續出しつゝあるが、果して社會はどんな解を下してゐるか、社會各層について聞いて見る

新京高女の
安間教諭は語る

右に關し新京高等女學校安間教諭は語る

誰にしても此の國家非常時に際し、ダンスホールに出入するなど甚だ不都合なことでつゝしまなければならないことである、併しダンス自体について一概に悪いとかいゝとかいふことは出來ない、これも一つの營業だから、我々教育者としては絶對いけないこと、思ふそしてこの壯漢の心理について果してどういふ人物かを見なければ何ともいへない、或は醉狂であつたものか酒に醉つてやつたことか、又ダンスホールへ出入する階級に對する反感鬱憤からか、その心理狀態をきはねば何ともいへない

一概にこんな問題を評しかねる果して憂國演説をしたといふ男がほんとうに憂國の志士であつたか否か、或は氣違でなかつたか、此點も考へねばならぬ、眞面目な動機であつたなら大いに共鳴する、けれどもダンスホールばかりでなく色街などにも相當種々な人が出入りしてゐるからダンスホールのみを目の敵にするのはどうかと思ふ踊ることが單なる目的なら別に惡くもないでせうが、ゆく人の心理

如何が問題でせう、いづれにしてもこんなことの起るのはある社會の断面を現すもので各人が研究すべきことと思ひます

營業妨害ではない
山村憲兵大尉談

二名の憂國の士がキャピタルに現はれ演説をやつたことは事實だ、併し如何なる考への下にやつたか自分としては充分に聞いておらないが右二名の内一名は今から一週間前キャピタルに現はれたがその時は經營者の諒解を得て約十五分間の演説をした、別に營業妨害でもない樣だが、目下憲兵分隊としては右の二名に就き調査してゐる

何處か
お互に研究
すべきこと

眞意は果して

日本基督教會の關谷ハルさんは語る

弛緩した人心には
一服の清涼劑
聯合婦人會某女史談

聯合婦人會の某女史は語る今度の事件は時局以來いさゝかゆるみかかつた新京人に對しての一つの大きな清凉劑であつた、ダンスもその程度により社交的のもの

なら悪くはあるまい遠く内地を離れ國へ家族を殘し來滿するものに一つの慰安場所として使用されることはやむを得まい、また一方酷寒零下四十度—五十度の北

から久々ぶりに新京へ出て來てこの浮かれた狀態を見せつけられては憤慨するのは當り前である、要するに今日の新京はチトダンス熱を越えてゐるやうです

有段者で
柔道會
武德會支所も作る

滿

新京武德會支所に於ては既報の通り日滿兩國民の融和を圖り且つ又新京柔道界を統一する目的で市内居住の日滿有段者をもつて近日中に新京柔道會を創立する事となり、目下着々として準備を進めてゐるが、役員は會長、梶本憲兵司令官、副會長、高山新京署長、荒木新京地方事務所長、森田滿洲國交通部鐵道司長、委員伊藤、小原(新京署)大越、川添富源、久山(滿鐵)瀬崎、岐(滿洲國)等の諸氏で一船志望者は準會員とする筈で本部を滿鐵地方事務所内に置く事となつた

八日朝歩兵
通過

四日から八日にかけ歩兵第〇〇團の兵員が左の日時に南方から來京するから市民は出迎へ慰勞を忘れぬやうに

一、二月四日午前四時着　同午前四時着　同上
二月五日午前一時三十分着　同午前四時二十五分着同上
同上　同午前五時五十分着同上
同午前三時三十分着　同上
二月六日午前一時三十分着
同上
二月八日午前一時三十分着
同上
二月八日午前三時三十分着
同上
二月八日

右は何れも〇〇〇方面に出發の豫定なるも出發日時は未定

四平街驛で
兵站事務開始

〔四平街支局發〕當市は四洮、洮昂、齊克鐵路に由する起點にて、奥地軍隊輸送の場合兵站部の設置なく不便を感じつゝあつたが、三十一日公主嶺より山本少尉以下七名來四、當驛に休養停車場事務室を開設兵站事務を採る事と成つた

暫編警備獨立隊の
正體捜査開始
一將の戰死から足がつく

去る二十九日長春縣第四區老山砲附近で匪賊十數名と歸順匪賊らしき一隊が突如衝突し

〝一將〟が斃されてゐるを附近住民が發見したの旨首都警察所に届出た、同署では直に係員急行檢證を行つた處、胸に數個の彈痕を受けてゐた、携帶品及身分證明書には暫編警備獨立第三支隊第二連長樂恒久と記してあるが、同人の携帶品中に暫編警備獨立第二支隊第二團の腕章十五枚募兵旗一枚を所持してゐるに不審を抱き

〝目下〟首都警察所司法係では暫編警備隊の正體並に同隊が何故募兵をしてゐるかにつき嚴重捜査を續けてゐる

何杜國軍
我警備隊猛襲

〔錦州一日發國通〕三十一日午前四時何杜國軍の主力は突如我が九門口第一警備隊を猛襲し來り、我が警備隊は交戰約二時間の後これを擊退したかくて同方面の空氣は愈々險惡化して來た

宿舍の增加で
區域と配達大增加
サービスに余念のない新京郵便局

新京郵便局では從來配達區域外にあつた西五條及六條通、流星町六丁目、千鳥町六丁目常盤町六丁目に最近關東軍官舍約七百戶が落成し一千余名の人々が居住したので、郵便物配達の必要に迫られ、遞信局へ配達夫增員、區域擴張方を申請したので近日中には認可になる筈である

露支兩國間
無線連絡開始
支那赤化運動の序幕

〔ハルビン一日發國通〕當地に達した情報によれば南京政府交通部は露支兩國間の無線聯絡を開始すべく露國當局と交渉中であつたが兩者の間には已に協定なり上海無線局はウラヂオ、ハバロフスク、モスクワの無線臺と聯絡を圖る事となつた、而して右聯絡實現の上は露西亞は無線を通じ支那赤化の放送を行ふものと見られてゐる

太平洋會議
議題滿鐵に到着す

〔大連卅一日發國通〕太平洋地帶に於ける諸國間に於いて組織され本部をハワイに置く太平洋會議は今年は九月を期しカナダのバンフで開かれるが此程滿鐵にも其の會議議題がニユーヨークに於けるコムミツテイーの決定を經て送附されて來た。議題は左の如くであるが時局柄經濟問題に重きを置いた旨として相當注目されてゐる

太平洋地帶に於ける支配と統制「註經濟問題を主とし政治、文化問題を添ふ」

滿洲國新參議
田邊治通氏赴任す

〔東京一日發國通〕滿洲國參議田邊治通氏は一日午前九時、東京驛發赴任した

倫敦留學中
の蜂須賀侯
父君病氣で急遽歸朝

〔ハルビン一日發國通〕歐洲に留學中の蜂須賀正氏は父君正韶侯令息正氏は父君病氣の報に接し急遽倫敦を發しシベリヤ經由本日當地に着いたが直ちに飛行機で東京に向つた

(註：〔ハルビン一日發國通〕歐州一周飛行競技に唯一の日本人として參加したスポーツマンで倫敦に留學中の蜂須賀侯令息正氏は父君正韶侯病氣の報に接し急遽倫敦を發しシベリヤ經由本日當地に着いたが直ちに飛行機で東京に向つた)

滿洲國新縣
別白地圖

新京工藝者では今回「滿洲國新縣別白地圖」を出版したがこの地圖は白地圖で思ふやうに書き入れることが出來るやうになつて居り、一般から便利なものとして歡迎されてゐる、定價は一部十五錢

上海港内外で
不法臨檢海賊の頻發
内外人憤激の的となる

〔上海一日發國通〕幾に鎭江沿岸に於て怡和洋行聯和號、太古洋行計昌號が海賊行爲に等しき不法臨檢を受け船荷を掠奪された事實があつて間もない去る二十五日、日清汽船の襄陽丸が中國官憲の爲め上海へ向つて下航の途銃を以つて脅迫され船内を掠奪された事件等頻發する同一行爲に對しては非常な非難が高まり内外人の憤恚を買ひ上村南京總領事の嚴重なる抗議となつて現はれたが三十一日鎭江警備司令部は我方に一層警備を嚴にし今後かゝる事件を起さざる旨陳謝して來たと傳へらるゝ矢先、同じく日清汽船會社所屬の南陽丸が而も上海港で海賊に襲はれた事件が起つた

南洋丸は三十日漢口より當地に入港し日清汽船浦東碼頭に繋留されたものであるが同日午後九時半頃拳銃を所持する十四五名より成る中國人海賊團が「ハシケ」に分乘して碇泊中の汽船の舷側に漕ぎつけて攀ぢ上らんとした爲に折柄見張り中の中國人水夫は逸早く急告けんとした所、海賊の一名の爲拳銃を以て脅やかされ料理場の中に監禁されて了つた、賊團は人少を見て石炭庫の上部の戸を破壞し甲板の倉庫に侵入して倉庫内を物色中、物音に驚いた中國人水夫が現場に馳つけた爲これ亦監禁された恰も荷物の陸揚が濟んだばかりの事とて賊團は何の獲物もなく尚も船内隈なく探索して掠奪せんものと死物狂ひとなつてゐる時舵夫ボーイ中國人某は氣轉をきかして「ドラ」を亂打した爲に不意を打たれた彼等は我勝ちに「ハシケ」に乘移つて何れへか逃れ去つたが「ドラ」の急を告げる音に公安局水上署巡警等多數乘りつけ、逃げ足の遲い賊の一名を逮捕した、尚ほ二等運轉手某も甲板に馳せつけた時には已に賊は逃れ去つた後であつた被害はこれが爲めない模樣であるがかゝる事件が最近になつて續々起るので當地内外船舶は恰かも一、二八記念日の前後とて極度に憤慨してゐる

露支通商密約
事實無根だと
―蘇聯當局否定す―

〔モスクワ卅一日發國通〕北支那商務團体が露支復交を契機として露支貿易の增進を圖り日本商品のボイコツトを大々的に敢行する見地から露支貿易に關する秘密協定を締結したとの報道に關しモスクワ通商官邊では右の說を根底より否定し全く謠言だと一笑に付して居る

右議題を更に項目別は

一　經濟的爭鬪と統制
二　國際調停機構
三　教育の問題

今回會議主題たる經濟問題討議目は左の如くである

食糧、人口、原料、製品、資本移動交通機關に依る經濟的依倚相互依倚傾向

イ　原料に要する資源及び外國市場を政治的に支配し若くは制禦するには如何なる程度を限度とするか

ロ　貿易に對する政治的（例へば國家の）若くは經濟的（例へば税則）障害は如何なる程度迄資源及び市場の利用及び人爲的刺戟に與つて力ありしや

ハ　領土擴張交戰過程は經濟的意義において如何なる程度迄容認せられたるや

二　太平洋資源利用に對する現在政府組織及び通商方策の影響如何

ホ　太平洋地帶資源により協調的な分配一般的利益ある改善を齎らす付如何なる提案なし得るや

右議題をみるにハの問題等は東洋時局が生んだ議題ともみられ之が討論は相當注目するものがあらう、因に出席議員の三分の二經濟問題討議に參加資格を有する者もあり政治外交機構教育政策問題等の討議資格者の出席數は少數に限定して居る

人事往來

▲劉元炟氏（吉長吉敦鐵道管理局警務處長）一日午後〇時三十分奉天へ
▲桑堀少佐（新京線區支部）一日午前九時南行
▲金榮林氏（東省特別區警察署管處長）一日午前八時來京
▲張梅鵬氏（侍從武官長）一日午後一時三十五分來京
▲河野洮南事務所長一日午後一時三十五分來京

天氣豫報

一日の最高氣溫零下五度四、最低零下三十度四、二日の天氣は南西の風晴れ

映画だより

▲繁乃家のエミ子　とても感じの良いサービスの上手な女で男の心を摑む事が得意です▲花びしのヤエ子　あいきやうのある笑顔で客をノウサツしてゐますか、京城にのこした誰れかの事を思へば浮氣も出來ず思案投首の態▲三笠の雪子　なか〳〵頭が良い、若い客は〇が無いと見込んで年增の客ばかりあせつてゐる…

▲城内新富の小浪　京城のカフエー仕込のサービスは來る客毎に滿足を與へてゐるが、商賣替をして未だ日淺く其の道について熱心に勉強？してゐます

長春座は二日と三日は大松竹の松居松翁原作時代劇林長二郎千早晶子主演旅草鞋故郷の唄と池田義信監督栗島すみ子主演竹内良一、江川宇禮男、澤蘭子、藤野秀夫助演を上演する大人七十錢軍人學生三十錢小人二十錢の入場料である

第二十二回決算報告

貸借對照表（金勘定）

借方	金額
拂込未濟資本金	七五〇、〇〇〇・〇〇
營業保證金	二五、〇〇〇・〇〇
土地建物	三三、七七九・六六
什器	七、三一〇・〇八
社員身元保證金代用證券	一〇〇・〇〇
貸附金	二六七、七六三・六八
未收入利息	一、八六九・三六
假拂金	一、九九〇・八八
定期預金	二三、〇〇〇・〇〇
當座預金	三三、一四九・八八
賣買未決算勘定	一九、五六四・七五
立替金	[illegible]
前期繰越損失金	一六、八三〇・六九
當期損失金	八、一五〇・五一
現金	四一・一六
合計	一、二七六、四六二・五五

貸方	金額
資本金	一、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
法定積立金	三七、七〇〇・〇〇
命令積立金	一四、八五〇・〇〇
特別積立金	六二、三九二・三六
取引保證人身元保證金	四三、〇〇〇・〇〇
社員身元保證金	二一、六七〇・七八
借入金	五四、六六九・三三
未納關東特許料	二四
未拂配當金	六六六・〇四
未拂金	二、〇〇六・二八
預り金	一、〇〇〇・〇〇
代用本證據金	一一〇・〇〇
合計	一、二七六、四六二・五五

同（御勘定）

借方	金額
當座預金	一、四六九・一一
賣買未決算勘定立替金	五三六・八一
合計	二、〇〇五・九二

貸方	金額
本證據金	一、三三〇・〇〇
追證據金	二二〇・〇〇
賣買未決算勘定預り金	四五五・九二
合計	二、〇〇五・九二

右ノ通ニ候也
昭和八年一月三十一日
新京取引所信託株式會社

婦人と家庭

主婦として一應知つて置きたい　國債發行の知識　インフレーションもこゝから

法學生　高瀨憲藏

國債發行の手續については(一)引受、(二)に交附、(三)賣出、(四)公募、の四種に分つて考へられます。

引受

これは大藏省の預金部とか日本銀行その他に於て引受けてしまふものであつて、最近問題になつてゐる歳出歳入の不均衡から増税によらず、公債發行によつて不足を補ふといふ公債も、その大部分は日本銀行などの引受により發行するものであります、昭和七年度に於て新規發行豫定額は七億八千萬圓からありますがこのうち交附公債八千萬圓を除いて大部分は日銀等の引受なさります、日銀等が引受けることは市中の資金を引揚げてしまふものでありませんから、金融市場を直接に壓迫して金利硬化を來さしめることなく却つて通貨の増發によつて資金の潤澤を來して今日やかましい問題となつてゐるますインフレーションの傾向を導くものであります

然し乍ら一旦引受けた公債を市中に賣り出す場合にはその賣出した高だけの資金は市場から引揚げられますから金融は壓迫せられることになります

交附

鐵道買收等の場合に現金を渡す代りに公債を以て渡す事があります。又震災手形所持銀行に貸付の爲に公債を交附された場合或は退職資金として軍人官吏其他に交附せらるる場合等公債の發行方法は交附によつてくるものと言はるるのであります。交附された者はその公債を賣却して現金に變へることは自由であつて、これは市場に於て轉々するわけであります

賣出

日本銀行等で一旦引受けて後日賣出される場合のあることは前に申述べましたが、これは賣出によつて發行されたとは通例申しません　公債の賣出による發行と云つて居るのは日本銀行は一應形式上引受けるが、直ちに日銀はその本支店代理店及全國の郵便局で賣出して了ふのを云ふのであります　これは金融市場から資金を引揚げるといふよりも、一般民衆の間の貯蓄から吸收するのであります、金融界への影響は少く、反面巨額の國債起債には不適當であります、從來郵便局賣出によつたものは金額が割台に少いのもその間の事情によるものであります、

公募

公募による國債發行は最近の五分利國庫債券借換發行に屢々行はれたもので、一般金融市場に於て公に募集するのでありますが、新規の國債に應募する場合には申込期間内に日本銀行又各取扱店（銀行、證券會社等但郵便局では取扱ひません）に申込めばいゝとのことであります

勇ましい鷄（にはとり）のお話（はなし）（下）

瀨川爲蝶

○鷄の先祖　○飛べない翼　○鷄の名前　○鷄の寓話

鷄の名前

そこで、いさゝか鷄の名前調べをしてみますと、鷄のことを、俗に「にはとり」と云ふのは、人の家に飼はれてゐる鳥即ち、庭にゐる鳥であるから『庭鳥と』稱すのが實際であるといふ説もあるが、これはさうも受されないやうです、實は神聖な鳥であつて、祭場のやうな淨い所にも居ることの出來る鳥であるから「にはとり」と呼ぶのだと云ふ説が、實際らしく思へます。常世の『長鳴鷄』のことは、既に述べました通り、次は、夕告鳥と云ふ名稱について云つてみますと、これもやはり、神聖な鳥でありまして、神に仕へるためにその『羽毛を』木綿幣に例へて、俗に「ゆうつけどり」と呼んだものであると云ひます、別にくだかけといふ古い名稱もありますがいかけと云ふのは、其鳴聲からきたものであると云ふ、しかし詳らかではありません

鷄の寓話

鷄は、このやうに人間の、生活とは密接な關係がありますから、隨つて、物語などにも澤山出て來ます、殊に『有名で』あるのは、イソップ物語であつて、この物語の中には、鷄に關するものは、わずかに四五種しかありませんが何れも深い意味を持つてゐるものばかりです『第一は』鷄が往來で餌を探して歩くうちに、フト金剛石を掘り出します、鷄は、これを眩いて曰「お前さんの持主が若しお前さんを見たらば、どんなに喜ぶことだらう、しかしわたしから見ると『麥の粒』一つの方がどれ程有難いか知れない……」と、今一つは、猫と鷄との話して、猫は鷄が毎朝鳴くのは、眠りの邪魔になるといつて虐める、そこで、鷄が、種々『説明を』すると、猫はいきなり俺はそんな説明なんか聞きたくない、實は、まだ早飯前だと云つて、鷄を食べてしまふのです、第三は、鷄が犬と『旅行し』夜になると鷄は木の梢で眠り、犬は根本で眠ることにする、そこへ狐が來て鷄を欺かさうとし却つて見破られて、犬のために狐が命を落す話です次は『慾深い』お婆アさんが、食物を餘計にやつたら卵も餘計に生むだらうと考へて、二倍の食物をやり、揚句の果て、鷄は病氣になつて、卵も生めなくなつてしまつたといふ話ですこれらはそれ、ぞれに變つた意味があつて至極面白いものだと思ひます

鮮魚小賣相場

種別	値段	種別	値段
タヒ	一三	活鯛	一五〇〇
連子	四二	マグロ	一、九〇〇

種別	値段	種別	値段
サバ	一三〇	アジ	三〇
カレイ	一二〇	ヒラメ	四〇
ボラ	一三〇	コノシロ	二六〇
ムツ	一二〇	シジミ	一五
カマボコ	二〇	目高カレイ	一三
糸入	四〇	マナカツオ	一三
タコ	二八	甲イカ	五五
伊勢蝦	一九〇	カニ小	六〇
ハモ	四〇	アナゴ	二九〇
貝柱	四〇	ナマコ	二五
アワビ	八〇	カキ	三〇
チクワ	一〇		

野菜相場

新京市場小賣相場表　一月三十日「菜果之部」

種別	値段	種別	値段
白菜	八	蓬蓮草大連物	一一
サツマ芋	四四	里芋	一〇
山芋	一〇八	赤芋内丸	一五
ツクネ芋内地	一二〇	牛蒡	〇五
蓮根	一四	白大根「大連」	〇八
丸大根	〇六	赤大根	〇六
玉葱	〇九	人参	〇三
生姜	一二〇	ウド	三〇〇
ワサビ	一六〇	内地葱	一〇
玉菜	〇四	カブラ大小	〇八
馬鈴薯	〇三	水菜同	〇八
ユリ子	二五〇	ミツ葉大小	〇五
セリ内地	一五	ワケギ内地	〇五
春菊大連	〇三	胡瓜内地	一五
林檎	一〇	内地梨	二八
天津梨	一二	ミカン	一二
テーブル	四〇	西瓜	二〇

變幻黒船往來

禁轉載上映及上演

（作）寺島柾史　（畫）布施長春

第十三回

根岸の宿（五）

『悪は悪、恩義は恩義だ。……その代償をうけ取らうとするお前は實に見下はてた奴だ』

『よ、よくも……』

女は、いきなり白軒の腕へ取ついた。それを突き放し、ふたゝび立上つた白軒には、今はもう懸女の存在は、死灰よりも醜くうつるのだつた。

彼は獣々とあるきだした。

『ど、どこへゆく？……悪徒！こ、この家を一歩も外へ出さないよッ』

紫園は、ぐいと男の羽織の袖をとらへた。

『うむ……よしッ！おまへがそのやうな女なら……』

『女なら、どうしたい』

『そんな女なら……よし、連れて行つてやらう』

『なに、連れて行つて……？』

『おう、フランスはフランスだが、少うしばかり恐ろしいところだ。……永劫の地獄へつれて行つてやらう』

『えッーそんなら、あたしを、こ、殺す氣だね』

『學問のために、その大きな野望のためには、小の虫を殺し兼ないおれだ。江戸市中の町人たちを苦しめた罪からみれば、愛する女ひとりぐらゐ、なんでもない。……さア、浮世繪師の山村紫園、いや、毒婦お愛！覺悟をしろ！』

『あれッ！』

白軒は、振かへつた。

身を退いた女は、ふツと男の方をみて氣絶せんばかりに驚いた。

いつの間にか、白軒の右の手には、南蠻ゆづりの五連發拳銃が握られ、しかも、この筒先が女の胸に[illegible]しく差むけられてゐるのだ。

『さア、お愛！氣の毒だが、おまへの命は貰つたぞ。……いや、愛する男に殺されるのは、むしろおまへの本望だらう。おれとて、ひとり外國へ去つたそのあとで、おまへがあの箕浦づれの玩弄物になるとおもふと寝ざめがわるい。ひとおもひに片心中だ！』

『あれつ！』

紫園の金切聲と同時に、吳竹の根岸の里の孤つ家に、白晝怪く一發の銃聲が起つた。

その銃聲におどろいて、吾をわすれ、いきなり植込の中から飛出し、縁先から這ひ上つたのは、いつぞやの青剃り藤太、つゞいて榮草植場の御小人番箕浦格之進が硝煙の匂ひの立迷ふてゐる書齋には、下手人の松井白軒の姿は、すでにどこともなく掻き消され、射殺された女の死體だけが、しどけない姿のまゝ無殘にも横たはつてゐた。

『しまつた』

藤太は獵奇趣味に昂奮しながら玄人らしく先づ叫んだ。

『いやはや、これは……』

鐵面の箕浦格之進は、この場の光景にといふよりも、浮世繪師山村紫園のしどけなく腰亂れてゐるやうなその死體に、いふにいはれぬ魅惑をかんじて、おもはずうめきだした。

『お愛！お愛！』

格之進は、小膝になつて女の顏を覗き込んだ。

青剃り藤太は、苛立たしく叫んだ。

『旦那！そ、それどころぢやありませんぜ。犯人が……松井白軒が……』

『おう、白軒が見えぬ？』

物倦げにいつた格之進は、もう一度女のしどけない姿に見とれた。